

第44号

あがの
市議会だより

令和2年
3月定例会号

令和2年3月31日 発行

主な内容	
議案ピックアップ・議決結果	P2
常任委員会・特別委員会の活動報告	P3-4
市政を問う一般質問(10人)ほか	P5-7
議会報告会での意見ほか	P8



阿賀野市内の農家では、チューリップの出荷が行われています。
出荷の時期は12月中旬から4月初旬。県内随一の栽培技術を誇り、東京の市場へも出荷されています。
圓山孝さん(京ヶ島)のハウスでは、アンジェリケやスペシャルレッドピットなど多くの品種が栽培されています。

3月定例会が
2月28日～3月19日の
会期で開かれました

2月28日 本会議
■施政方針・一般行政報告
■議案の提案説明
■一般質問1日目(2人が質問)

3月2日 本会議
■一般質問2日目(6人が質問)

3月5日 本会議
■一般質問3日目(2人が質問)

3月9～11日 各常任委員会
■委員会に付託された議案を審査

3月12・13・16日
予算審査特別委員会
■令和2年度各会計予算を審査

19日 本会議
■予算審査特別委員会、各常任委員会の審査
報告のあと討論を経て採決
※議決結果は2ページ

議案ピックアップ

議案を議決するまでさまざまな視点から審議を重ねています。
審議した中から令和2年度当初予算の内容をお知らせします。

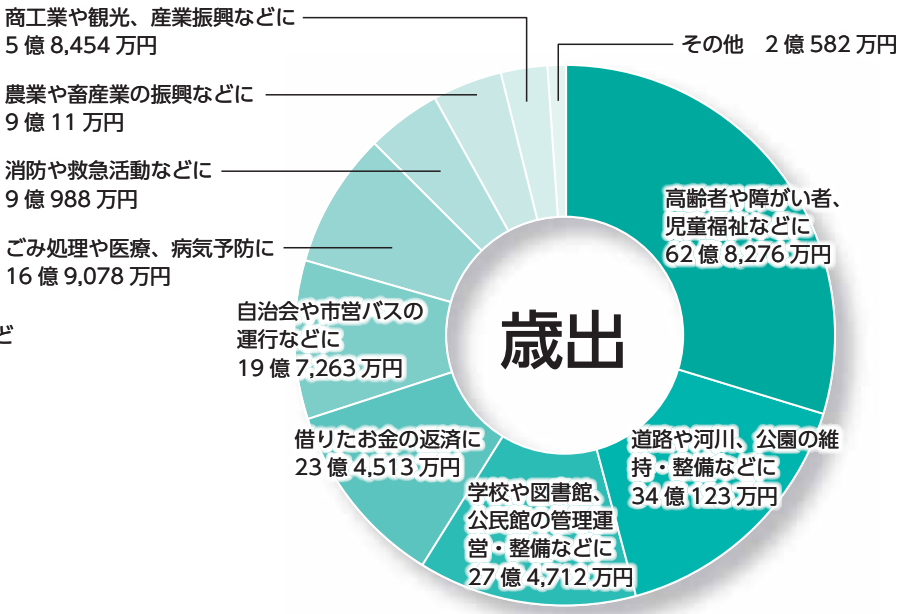
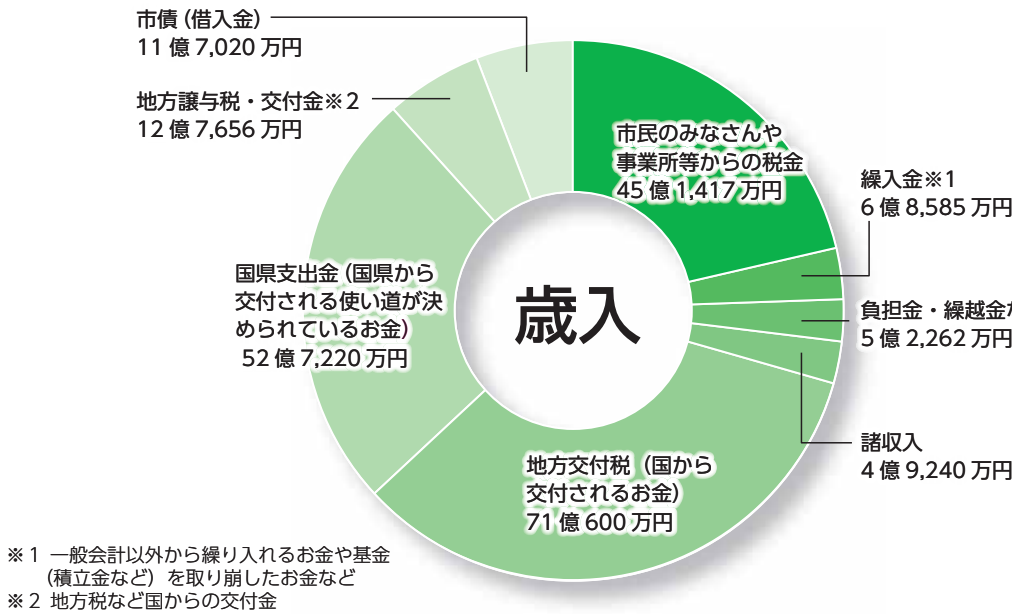
令和2年度当初予算

令和2年度一般会計ほか8会計の予算は、議長を除く全議員で構成される予算審査特別委員会において3日間にわたり慎重審査を行い、本会議最終日に採決の結果、いずれも可決されました。

令和2年度 一般会計予算は210億4千万円

元気で明るく活力のある魅力的なまちづくりのために

3年連続で前年度を上回る積極型予算



政策の柱6つの基本軸における主な事業は2ページ

【令和2年度各会計の予算状況】					
会計名	歳入歳出予算総額	前年度対比(伸率%)			
一般会計	210億4,000万円	2.0	水道事業会計		
国民健康保険特別会計	40億8,003万円	△0.1	収益的収入	13億547万8千円	収益的支出 12億982万4千円
後期高齢者医療特別会計	8億5,238万円	4.1	資本的収入	3億9,836万円	資本的支出 10億307万1千円
介護保険特別会計	50億5,534万8千円	1.3	下水道事業会計		
押切外四ヶ大字財産区特別会計	501万7千円	0.0	収益的収入	19億4,073万3千円	収益的支出 18億6,406万円
少年自然の家特別会計	3,332万2千円	1.8	資本的収入	13億9,652万7千円	資本的支出 18億9,932万1千円
			病院事業会計		
			収益的収入	5億163万4千円	収益的支出 9億1,980万7千円
			資本的収入	1億455万9千円	資本的支出 1億2,972万9千円

令和2年度当初予算
政策の柱6つの基本軸における主な事業

議案ピックアップ

1 安全・安心な暮らしの実現

- 避難所設備整備事業 **新規**
主要避難所において、停電に備えた自家発電設備を整備します。
- 防災設備維持・整備事業 **拡大**
土砂災害警戒区域内に該当する自治会において、防災行政無線戸別受信機を計画的に配備します。

2 子どもの育成支援の充実

- 子ども医療費助成事業 **拡大**
18歳未満の子どもの入院費を無償化します。
- ひとり親家庭家賃助成事業 **新規**
ひとり親家庭で民間アパートに入居している方の家賃に対して助成します。
- 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業 **拡大**
対象学用品の拡充やインフルエンザ予防接種経費相当分の追加を行います。
- 特定不妊・不育症治療費助成事業 **拡大**
不育症治療の経費に対しても助成します。
- 小中学校コンピュータ教育環境設備整備事業 **拡大**
児童生徒1人につき1台の学習用タブレット配備に向けて、計画的に購入します。

3 高齢者や障がい者福祉の充実

- 障害児・者紙おむつ等購入費助成事業 **新規**
日常的に紙おむつ等を使用している障がい児・者の紙おむつ等購入費に対して助成します。
- 軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業 **新規**
18歳以上の身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中等度難聴者の補聴器購入費に対して助成します。
- 後期高齢者歯科健診事業 **新規**
むし歯や歯周病などの予防のため、76歳と80歳を対象とした歯科健診を行います。

4 地域経済の活性化

- えんだま産地化推進事業 **新規**
縁玉（えだまめ）農家の支援のため、土づくりの経費に対して助成します。
- 園芸ヘルパー助成事業 **新規**
園芸作物栽培の繁忙期の労働力確保のため、園芸ヘルパーを雇用する経費に対して助成します。
- 地元企業支援事業 **新規**
地場産業の活性化のため、市と商工会が連携して、雇用確保の支援及び税優遇措置や補助金の活用を支援を行います。

5 生活に密着した住環境整備の促進

- 防犯灯維持・整備事業 **継続**
主要な通学路に防犯灯を新設します。

6 市民協働の推進

- ホームページ運営事業 **拡大**
使いやすく見やすいホームページにリニューアルします。



予算審査特別委員会の様子

3月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

議 案 名		審査した委員会※	議決結果
選挙	阿賀北広域組合議会議員補欠選挙	—	※1
※1 指名推選により稲毛明議員が当選			
人 事 専 決	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (山川敦子氏、田村あつ子氏)	省略	適任
	阿賀野市教育委員会委員の任命について (中野稔氏)	省略	同意
	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について 令和元年12月26日専決	省略	承認
	令和元年度阿賀野市一般会計補正予算(第6号) 令和2年1月28日専決	省略	承認
	令和元年度補正予算 一般会計補正予算(第7号) 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 介護保険特別会計補正予算(第5号) 少年自然の家特別会計補正予算(第1号) 下水道事業会計補正予算(第4号) 病院事業会計補正予算(第2号)	省略	可決
条 例	阿賀野市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について	総文	可決
	阿賀野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総文	可決
	阿賀野市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総文	可決
	阿賀野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総文	可決

議 案 名		審査した委員会※	議決結果
条 例	阿賀野市コミュニティ供用施設設置及び管理に関する条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市集落排水処理施設条例の一部改正について	産建	可決
そ の 他	工事請負契約の変更について(安田中学校長寿命化改良工事)	総文	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市神山児童クラブ)	社厚	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市グリーンアクアセンター)	産建	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定について(宝珠温泉保養センターあかまつ荘及び安田農村環境改善センター)	産建	可決
発 議	若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、高齢基礎年金等の支給額を改善することを求める意見書の提出について	省略	可決
	阿賀野市議会基本条例の一部改正について	省略	可決
	公立・公的病院の一方的な再編・統合を行わないことを求める意見書の提出について	省略	可決

◆各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。

※省略：本会議で即決したもの	
総文：総務文教常任委員会	社厚：社会厚生常任委員会
産建：産業建設常任委員会	予算：予算審査特別委員会

意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(風間輝榮)は採決には加わりません。

議 案 名			審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党			新政クラブ		阿賀野クラブ			ネオあがの		会派の所属なし				
					村上	倉島	宮脇	稲毛	江口	近山	山崎	浅岡	山口	高橋	市川	天野美男	遠藤	石川	山賀	清野
					清形	良司	雅夫	明	卓主	修	正春	信一	功位	幸信	英敏	智子	恒夫	清一	栄一	
令和2年度予算	一般会計予算				予算	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	討 論 (要旨)	反対意見	市は、国のGIGAスクール構想による学校のICT化を推進するとしているが、その予算を教員の多忙化の対策などに充てるべき。また、新年度予算には子ども医療費の入院費無料化など評価するものもあるが、国の保育無償化により軽減された市の負担分などを財源として、少子化対策に本格的に取り組むべき。																	
	後期高齢者医療特別会計予算				予算	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	討 論 (要旨)	反対意見	新年度の保険料を平均3,596円引き上げる予算に反対する。後期高齢者医療の窓口負担は1割から2割になっている。また、物価は消費税増税の影響を含め5.8%上がっているが、年金は実額で0.6%も引き下げられており、トリプルパンチの状況となっている。																	
条 例	阿賀野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について				総文	可決※2	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×
	※2 賛成・反対同数により議長裁決により可決																			
	討 論 (要旨)	反対意見	議会は、議員報酬の決定権限をもっているという特殊性があり、慎重な論議が必要と思う。現状の中での報酬引き上げは、議会の信用にも響きかねないものであり、報酬は引き上げるべきではないと思う。																	
		賛成意見	次回の改選より議員定数を20人から16人に削減することを踏まえ、また報酬額についても、他市と比較して低いと思われるため、審議会の答申に対して市民の皆さんからご理解いただけたと思う。																	
請 願	基礎年金の改善を求める意見書の提出についての請願				社厚	採択	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×
	討 論 (要旨)	反対意見	基礎年金は、将来の現役世代の負担が過重なものとならないようマクロ経済スライドによって調整されている。国はこれまでも対策を実施しており、今後も社会保障制度全体で総合的な検討を進めていくべき。																	
		賛成意見	年金は、高齢者一人ひとりの生活を支える大切な役割のみならず、高齢化の進展する当市にとって行政の基幹を支える役割と、景気動向に左右されない年金が地域経済に果たす役割はより拡大することは明白である。国へ改善を求めるのは当然のこと。																	

公立・公的病院の一方的な再編・統合を行わないことを求める意見書を提出します

昨年9月26日に厚生労働省は、再編統合について特に議論が必要な公立・公的病院として、あがの市民病院を含む全国424の病院を公表しました。

それを受け、県に対して、厚生労働省に再編統合対象病院のリスト撤回を求めることや、地域医療体制の充実を積極的に推進することなどを求める意見書が社会厚生常任委員会から発議され、全会一致で可決しました。

この意見書を後日、阿賀野市議会として、新潟県知事、新潟県議会議長、新潟県病院局長へ提出します。



常任委員会の活動

総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

1月17日に所管事務調査を行いました

食品乾燥施設(旧大和小学校)の現況について

旧大和小学校は平成21年3月に閉校し、現在は1階を食品乾燥施設と株式会社協坂園芸の植物工場、2階を遺跡保管等作業場所、3階を市役所書類保管場所として活用しています。今回は1階部分の2つの施設について現地調査を行いました。

(1) 食品乾燥施設

市では、新商品開発に取り組む園芸農家や食品製造業者を後押しする目的で地方創生推進交付金を活用し、平成28年度に旧大和小学校の音楽室を食品乾燥施設として改修しました。山形大学発ベンチャー企業と連携し、平成30年度までの3か年で72件、26品目の乾燥加工を実証しました。それをきっかけに、独自の製品を開発・販売したり、民間企業3社が自前で食品乾燥機を導入し、乾燥加工を受託するなど、市内で農作物の乾燥加工ができる環境となりました。

一方、食品乾燥施設の有料賃貸による利用者募集を平成30年度中から始め、令和元年6月からはU-Jターン起業者を対象に貸付料を月額約60,000円から約3,000円に見直ししましたが、施設の場所や機械の能力など様々な要因により、現在まで契約に至っていないのです。委員からは、地元の意欲

のある方から有効に活用してもらうなど、起業創業につながるよう柔軟に対応してもらいたいという要望がありました。

(2) 株式会社協坂園芸の植物工場

エディブルフラワー(食用花)を生産する株式会社協坂園芸は、旧大和小学校ランチルームを月額30,600円で市から借り受け、植物工場に改修し利用しています。地域に貢献したいという想いから廃校を利用し、地元企業の協力を得て、一から作り上げたということです。また、エディブルフラワーを加工する作業を一部福祉作業所に委託するなど、農福連携にも取り組んでいます。

植物工場での栽培は前例がなく、試行錯誤してきたのですが、今では料理を彩り、写真映えるエディブルフラワーの人気は高く、JALの食事メニューに添えられるなど、多くの引き合いがあるそうです。これは、植物工場の栽培と通常のハウス栽培と併せて行うことで、一年を通して花を出荷できるというメリットによるものです。

一方、植物工場単体での収支は赤字であり、ランニングコストが高いという話がありました。が、担当者によると年末に賃貸



食品乾燥施設のクリーンルーム。素材本来の味や色、栄養価を維持したまま粉末加工できる食品乾燥機が設置されている。

社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

1月30日に所管事務調査を行いました

阿賀野市環境センターの管理運営状況について

(1) 阿賀野市環境センターについて

環境センターは笹神地区笹岡に平成5年度にできた施設で、平成18年度に大規模改修、その他修繕をしながら稼働させています。

1日あたり16時間の稼働で最大60トンの処理が可能です。現在の処理量は40トンから45トンで推移しています。ダイオキシン類を分解させるため約850℃でごみを焼却しており、高温により熱交換器等の部品が損傷しやすく、たびたび交換や修繕が必要となっています。また、効率よく焼却できるよう、作業員が操作室から目視により確認しながらごみの種類や水分量などを調節し、クレーンで焼却炉に投入しています。

施設が老朽化していますが、今後の方向性について今のところ具体的には決まっておらず、情報収集を行っているとのこと。



現在の最終処分場。写真中央にガス抜き管が見えるが、ガスの発生はほとんどないとのこと。

(2) 最終処分場について

現在の最終処分場は、焼却灰に覆土を繰り返し埋め立てるサンドイッチ方式です。平成29年度に残容量を実測した結果、これまでの推計よりも余裕があることがわかりました。これは、燃え残りが以前に比べて少なくなっているために覆土が少量でよくなったこと、埋め立てた焼却灰が車両や覆土により圧縮されることによるものです。現在の予測では、今後約10年間使用できる容量があるとのこと。

却場)は、基本計画で概算建設費を税抜約33億7千万円と見込まれていました。しかし、基本設計の中で検討したところ、東京オリンピックや災害復旧工事による資材や人件費の高騰、地下水位が高く地盤改良が必要などの理由により税抜約58億5千万円と増額となっています。現在も、五泉地域衛生施設組合の事務局で専門家を交えて費用の削減に向け鋭意検討しているとのことですが、時間を要しており、スケジュールドおり進められるか難しい状況であると説明がありました。

(3) 広域一般廃棄物処理施設整備事業について

当市安田地区、五泉市、阿賀町の廃棄物を処理している五泉地域衛生施設組合では、新しい施設の建設について準備が進められています。

令和6年度に供用開始を目指している中間処理施設(ごみ焼

委員からは、「新しい焼却場は当初の計画からスケジュールが延びている。施設設備が経年劣化していく中で、現場の作業環境や外部の環境面も含めてしっかりとした設備で運転ができるようにがんばっていただきたい。」また、「最終処分場はあと10年くらい持ちそうだが、新しい処分場は4年後に供用開始を目指すとのこと。五泉地域衛生施設組合全体で、今の処分場を埋め終わってから新しい処分場を作るのが合理的だと思う。」「最終処分場として利用する部分と合わせて、備えとして災害廃棄物の埋め立てについても重要視してほしい。」などの意見が出されました。

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)

市内小中学校施設の現状と課題について

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)

子どもの貧困対策計画(案)について

産業建設 常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

1月23日に所管事務調査を行いました

阿賀野市の農業について

農林業センサスの前回の調査資料から、阿賀野市の農業の動きを見ると、個別経営体数が減少し、組織経営体数が微増となっています。経営面積規模別経営体数については、5ヘクタール以上の経営体数が増えており全体の経営体数は減っていますが、一経営体当たりの経営耕地面積の増加が伺えます。また、このような影響からか、農産物販売金額規模別の集計で1千万円以上の経営体数も十数件増えており、基幹的農業従事者数については一時的に増えています。



スマート農業について講師を招いて勉強会を開催

ましたが、前回調査ではそれ以上に減り、若手従事者が増えず高齢化が進んでいるようです。2020年の農林業センサスでは、日本農業の生産構造や就業構造及び農林業を取り巻く実態が明らかになるものと考えられます。

国では農林水産業・地域の活力創造プランの中でスマート農業を位置付け、一年前からスマート農業の技術開発・実証プロジェクト及びスマート農業の加速化実証プロジェクトの公募を行い、当市のJAささかみでも、水田における枝豆スマート農業の技術体系の実証として、自動運転トラクタや枝豆コンバイン、色彩選別機等の導入の活用を通して少ない労働力でも大きな面積の栽培を可能とする機械化一環体系技術の確立を目指して応募しましたが採択には至らなかったとのことでした。

国は2025年までに農業の担い手のほぼすべてがデータを活用した農業を実践するという目標を掲げており、市内でもスマートフォン等を用いた水田の経営管理システムやドローンによる農薬散布、酪農の哺乳ロボットやICTを活用した園芸ハウスの栽培など農業法人を中心にスマート農業が普及しつつあるようですが、機械、施設等の価格面を考慮すれば個人農家

が導入できるような状況ではなく、現状では農業機械や情報通信技術の開発が先行して、結果的に圃場整備等の条件整備が進まない効果があり上がらないと考えます。スマート農業の本質は、平場よりも中山間地域、若い人よりも高齢者というような、条件が不利な点を補って持続可能な農業及び農村地域につなげるものと思います。

県内29市町村の圃場整備率として阿賀野市は県内最下位の2割台で、県の方も財政面で非常に厳しく、圃場新規地区を絞るなどしており、長期的な形で考えていかなければなりません。

農林課では、阿賀野市の農業を将来へ繋げるため、農地中間管理機構や農業関係者が連携体制を組み、農家の方へのサポート体制を整え、地域の農業を地域の皆さんで考える「人・農地プラン」の実質化と継続を進めていくとのことでした。

今後も、阿賀野市の農業について、継続して調査を行ってまいります。



議会改革推進特別委員会の活動

1月20日に先進地研修を行いました

石川県加賀市 議会改革の取り組みについて

加賀市議会は「早稲田大学マニフェスト研究所」による「議会改革度調査2018」で全国1,318自治体議会中第5位にランク付けされており、議会改革への各種取り組みは着実に成果を上げています。

加賀市議会における議会改革の取り組みは、時代の変革を的確にとらえ、議会が目指すべき姿を掲げ、具体的な取り組みを明文化した議会基本条例の制定が大きな契機となっています。

その取り組みは、議会基本条例の制定初年度（平成23年度）から多岐にわたり実践されており、その原動力は課題及び目指すべき方向性を全議員が共有し、精力的に行動したことにあります。「議会改革度調査」では、前年度全国順位863位から43位へと飛躍的にランクアップしました。

さらに特筆すべきは、平成27年度から運用した議会PPDCAサイクル導入と、同年締結した金沢大学法科大学院との連携協定です。

議会PPDCAサイクルとは、議会事業をP（PLAN計画）、D（DO実行）、C（CHECK検証）、A（ACTION改善）により確実に実施事業の成果向上へとつなげるものです。

また、金沢大学法科大学院との連携協定では、議員研修への講師派遣、大学院生のインターンシップ受入れによる政策等の共同研究などによって、議員の専門性の醸成や資質の向上に積極的に取り組んでいます。

議会改革の基本は、「議論」「住民参加」「情報公開」が三大要素であり、それらが実態として機能していることです。中でも、加賀市議会では、住民参加と情報公開が極めて多岐に及び、しかも能動的に事業実践されています。そうした行動が幾度となく報道されていることから、市民の目に触れる機会も格段に増加し、結果として市議会が市民に対して行った議会アンケートでは、設問のうち「議会への関心度」と「議会の活動評価」において、評価する割合が上昇しており、市民をも巻き込んだ議会改革が着実にその成果を上げています。

一方、議員の処遇面では、議員報酬月額48万円、期末手当は報酬月額×1.4×3.4、行政視察は常任委員会1人当たり年10万円、特別委員会1人当たり年5万円、政務活動費は1人当たり月8万円など、地域性を加味しても当市と比較して極めて厚遇されています。これは議員定数の率先削減や議会改革を推進し、議員が共通認識のもと、市

民から目に見える形での積極的かつ能動的な活動が評価されているもので、議員報酬引き上げに際しても市民からの批判が全くなかったことへもつながっているのではと推察できます。質疑の最後に、説明をいただいた議員から、「議会改革度調査」で高評価を得たことから、ランクを下げてはならないというプレッシャー的側面もあるが、議長のリーダーシップも大きく寄与しており、議長から各委員会等へ課題提起がなされ議会改革の柱にもなっている旨のお話があり、手段手法は異なるも昨年度の当特別委員会行政視察先である愛知県犬山市議会との共通点も多く、今後の阿賀野市議会の在り方、方向性等に多くの示唆をいただいた行政視察でした。



加賀市で議会改革について研修を受ける

閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）
圃場整備について

一般質問



ネオあがの
市川 英敏

農業政策について

質問 日本の農業は多くの問題を抱えており、本市においても農業従事者の減少、新潟県最下位の圃場整備率等は、今後の大きな課題でもある。優良農地の確保を図るとともに圃場整備の推進により安定した稲作経営、汎用化による園芸振興は重要施策と認識され、平成30年より圃場整備が本格的にスタートしたが、現状と今後の見通し並びに園芸振興について伺う。

答弁 本市では担い手の確保と地域農業の持続を図るため、現在、人・農地プランの実質化を進めている。

圃場整備については、年間平均50ヘクタールを整備目標とし、農業の省力化に効果的な圃場整備を行う。

園芸振興については、令和2年度当初予算において、既存の事業のほか「園芸ヘルパー助成事業」などの予算を新たに計上した。

国・県の施策や制度を活用しながら、JA・土地改良区等の関係機関と連携し、儲かる農業の実現に向け、取組を行う。



県営ほ場整備「中ノ通地区」
(第8工区) 面工事完了箇所

空き家対策について

質問 近年、空き家問題が全国的に社会問題化しており、総住

宅数に占める空き家の割合は13・6%にも及び、この20年間で約1.5倍84.9万戸に増加している。本市においても平成25年より各自治会の協力を得ながら調査を行い、管理不全等の空き家を中心に指導等を行った結果、少しずつ減少しており、担当課の成果と思われる。まだ相当数の空き家があり、それらの現状と今後の対策を伺う。

答弁 平成30年度末で空き家数は578件で、平成26年度と比較し、172件減少しており、空き家対策協議会を設立し、阿賀野市空き家等対策計画の策定並びに具体的な対策・検討を進めていくとともに、県や協議会等の関係機関と連携を密にし、空き家の解消に向けた取組を進める。

39・6%、10年後122%。
質問 財政計画では令和5年度までに基金が20億円程度減少するが？

答弁 ①当市の所得が低い(一人当り、国309万円、県283万円、当市256万円)また、養育費の受け取り率が国よりも9ポイント低い。②ひとり親世帯の家賃補助を創設。

意見 10年後でも今の県平均よりも高い。人口は3万5千人台、規律ある財政運営が必要。

子どもの貧困について

質問 全国の子どもの13・9%が貧困状態にある(ひとり親家庭では50%以上)。平成25年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が公布、「子どもの将来がその生まれ育った環境や、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等をはかる」と謳っている。そこで

●その他
労働安全衛生法に基づく職員のスプレッドシートの対応についても質問をした。



新政クラブ
近山 修

地域おこし協力隊について

質問 地域おこし協力隊は、総務省によって2009年度から制度化されて、阿賀野市でも制度を活用して市の活性化に取り組んできた。地域おこし協力隊の取り組みによる成果と現状について伺う。

答弁 市では、地域の活性化と定住及び定着を図るため、平成27年5月から平成30年9月まで、農業支援7人、観光振興支援1人、情報発信・学習支援補助1人の計9人の地域おこし協力隊を任用した。農業支援隊員は、市内で農業経営者や後継者



日本共産党
宮脇 雅夫

「景観条例」の制定を

質問 国の「景観法」にもとづき、下越では、新発田市、村上市で景観条例を策定している。固有の歴史、産業、文化、自然を活かした阿賀野市らしい景観を守り、育み、良好な景観を次世代に継承し、市の魅力を広げるために市の条例制定が必要になっている。先進地では、区域エリア毎の基本方針と行為の制限を設定し、技術支援、財政支援を行っている。当市も五頭温泉郷、瓢湖、瓦ロッド、阿賀野川流域など、特色ある景観を形成している。ぜひ、策定すべきだ。

になることも視野に入れ、農業法人や農家で主に農業研修を積み、2人の隊員が任期を終えて定住した。現在、この2人は新規就農者として笹神地区で畑作60アールでアスパラガスやナスなどの野菜を栽培し、スーパーのインショップや各種イベントで地場産野菜を販売するほか、県外向け野菜セットの販売にも取り組んでいる。情報発信と学習支援の隊員については、市内のお菓子屋さんを紹介するフリーペーパーの発行と、移住・パンフレットやホームページのデザイン企画の補助業務を行った。また、不登校となっている児童生徒の学校生活への復帰を援助する阿賀野市適応指導教室の指導員補助を担うほか、市内小学校での学校と関わる地域のボランティアとコミュニケーション活動に取り組んだ。任期終了後は、地域コーディネーター

答弁 現在、県内では9市が景観行政団体となっている。県では、令和2年度に景観行政団体以外の市町村を対象に、「景観観計画」策定予定で、その後、各市町村の状況を踏まえた細部計画を検討する。市の景観条例は、「景観観計画」を見極めながら制定を検討する。

瓦ロッド整備と瓦の冊子作成を

質問 瓦生産地は、安田瓦が最北端となっている。県で唯一の瓦生産地である庵地の瓦ロッドは、地域の特性を生かした地場産業ならではのもの。この瓦ロッドの整備を、関係者任せにせず市が積極的に関わって推進していくべきだ。当面は、安全な歩道を整備する事が急務である。また、165年の歴史をもつ安田瓦は、平成17年開催の安田



ターとして活動し、地域の子どもたちに勉強を教えるなど、教育分野において力を発揮している。地域おこし協力隊の現状は誰もいないが、阿賀野市の地域資源や魅力を表現する絵画やイラストといった創作活動を通じて、阿賀野市の魅力発信につなげることを目的として隊員を募集している。

瓦特別展開催時に、ほぼ歴史資料は揃えている。北前船で運搬し、東北・北海道の有名な建造物にも使用されていた伝統があり、唯一の寒冷地仕様である。しかし、この歴史と文化、優れた品質を紹介する冊子が未作成で、知名度はいま一つ。冊子でPRするなら、県内、東北・北海道にも販売普及できる可能性がある。作成支援すべきだ。

答弁 瓦ロッドの歩道整備は、当面、外側線の明示や幅広路肩の設置にむけ、合意形成を図っていく。瓦の冊子は、市もインシアチブを発揮して作成していきたい。



瓦ロッドのモニュメント

●その他
「人間ドック受診料の軽減」の質問をしたが、字数の都合で省略。



阿賀野クラブ
浅間 信一

阿賀野川について

質問 国の補正予算に当市の要望も含まれているようだが、内容を伺う。

答弁 河川維持修繕事業で、渡場の護岸補修、水ケ菅根の土砂撤去と京ヶ瀬防災ステーションの防水備蓄資材の配備が計画されている。

質問 県の令和2年度の予算はどうか伺う。

答弁 防災減災対策として、阿賀野川水系の一級河川藤戸川の堤防嵩上げ、一級河川都辺田川の河床掘削が計画されている。

質問 阿賀野川の洪水と堤防の

状況を伺う。

答弁 阿賀野川河川整備計画の整備目標流量は、馬下の基準点で平成23年新潟・福島豪雨で記録した観測史上最大の毎秒9950立方メートルを上回る、想定最大級の毎秒1万1200立方メートルの洪水を安全に流下できるように計画されている。また、阿賀野川の右岸において、河川整備計画の目標流量を満足していない区間は、下里地区の16メートル及び小松地区で右岸側約1200メートル、左岸200メートル。このため、国は阿賀野川の流下断面を確保するため平成27年から下里地区の河床掘削に着手し、令和2年度の完成を目指して工事を進めている。さらに平成30年10月には、JR東日本と設計協定を締結し、羽越本線阿賀野川橋梁の部分架け替えを進めており、本年度には設計が完了する見込みで

あるとともに、渡場の床固の改築に向けた調査を進めている。

質問 道の駅の造成土の説明を願いたい。

答弁 平成28年度から、阿賀野川河川事務所と河川掘削土の活用について協議を進めるとともに、並行して土質調査を行い、平成31年4月から道の駅予定地に良質な河床掘削土の搬入を開始している。

質問 阿賀野川の掘削土は、民間等でも譲渡していただけるか伺う。

答弁 下里地区での河床掘削があり、来年度完了予定。国道49号バイパスの盛土等、利用する場所が決まっているため、今のところはできない。



日本共産党
倉島 良司

ヒアリングループ設置義務の補助が要

質問 補聴器の所有率は、イギリス、フランス等では日本の2〜3倍であり、補聴器装用でも、欧米は聴覚専門家が医師と連帯して支援している。(国からかなりの補助金が出ているとのこと)。何より感動したのは、ヒアリングループの設置を法律で義務づけ、補聴器の普及を後押ししていることである。

日本補聴器工業会の調査によれば、超高齢社会において補聴器なしでは社会参加や行動範囲も狭くなり、社会の活性化にも影響すること。また、同工

業会によると、ドイツ等では、公共の劇場や鉄道駅などにループの設置義務とその活用を推進する法的な措置がとられている。

当阿賀野市もループの普及に取り組みべきと思うが、市長の考えを伺う。



答弁 ヒアリングループは、磁器誘導ループとも呼ばれ、補聴器の使用者が目的の音や相手の話し声を正確に聞き取ることができるようになるシステムであると承知している。しかし、導入にあたっては、専用のマイク、アンテナ等の環境整備が必要

の継続が困難な状況にあると認識している。街路灯はデザイン性が高く、老朽化も進んでいると思われ、維持管理費が防犯灯より高額になると推察されることから、街路灯の現状のままの受け入れや電気料の市負担など、防犯灯と同等の対応は難しいが、これまでの経緯、現状を調査し対応したい。



無会派
遠藤 智子

防犯設備の整備充実を

質問 市内における街路灯は、商店組合や自治会等で器具の維持管理や電気料の負担をし夜間の安全が確保されているが、高齢化や人口減少により店舗の廃止などで維持管理が困難な地域もあると聞かれる。夜間における安全対策の継続から街路灯の維持管理、電気料について、防犯灯と同等の対応の検討が必要と考え見解を伺う。

答弁 商店組合等の街路灯は組合等が活性化と防犯を兼ねて設置されたが、昨今、組合の解散や構成員の減少などで維持管理

の継続が困難な状況にあると認識している。街路灯はデザイン性が高く、老朽化も進んでいると思われ、維持管理費が防犯灯より高額になると推察されることから、街路灯の現状のままの受け入れや電気料の市負担など、防犯灯と同等の対応は難しいが、これまでの経緯、現状を調査し対応したい。



新町の街路灯

子育て支援の向上を

質問 京ヶ瀬地区は、新潟市等への交通の利便性が高い好立地

で、このシステムに対応していない補聴器もある。来年度から軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業に取り組みが、今後はこの事業の進捗状況を確認し、国、県、他市の状況を注視しながら対応を検討する。

駒林川、安野川の今後について

質問 降雨時、以前と比べれば、駒林川、安野川ともに水も早く引くようになったが、旧水原町の低い場所ではまだまだのところが多い。これから先の見通し計画はどうか。

答弁 県は駒林川、安野川については、適正な河川管理を行うとともに、流下能力の支障区間を中心に河床掘削、伐木等も順次進めるとのこと。県に対し、強く要望していく。

にあり、近年、虹の架け橋住宅支援事業効果や宅地開発等により市内外から子育て世帯等の定住者の増加が図られて、市の活性化に期待しているが、保育環境に不足との声も聞かれる。今後、曽郷地区の宅地開発や道の駅の完成等から推察した人口動向を踏まえた、安心して子育てしやすい環境づくりをどのように推進するのか伺う。

答弁 市全体では少子傾向だが、京ヶ瀬地区は横ばいで推移している。共働き子育て世帯の増加から未満児、長時間保育ニーズの高まりを受けて、京ヶ瀬幼稚園を認定子ども園に変更し対応を図っているが、希望された園で受け入れがでずに、他地区での保育園に入園も願っていた。今後も人口動態を意識しながら関係機関と情報共有し、対応してまいりたい。



公明党
村上 清彦

持続可能な開発目標(SDGs)の推進について

質問 SDGsとは「誰一人取り残さない」との理念を掲げ、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標であり、その下に169のターゲット、232の指標が決められている。当市においても各種計画等にSDGsの要素を最大限反映させ、取り組みを進めていくべきだと考えるが見解を伺う。

答弁 当市における中長期を見通した持続可能なまちづくりの実現を図るうえでも地方創生に

資するSDGsの達成に向けた取り組みを推進していくことは必要不可欠。総合計画の次期基本計画や次期地方版総合戦略の検討に際しても、理念を十分意識しながら、今後の取り組みを進めてまいりたい。



SDGs・17の目標

GIGAスクール構想の取り組みについて

質問 文科省は、学校ICT環境の抜本的な改善と、ICTを効果的に活用した多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや、創造性を育む学びの実現を



ネオあがの
天野美三男

緊急浚渫推進事業費 (仮称)の創設について

質問 新潟県の令和2年度予算案が発表された。3.2%減の1兆2,197億円である。国の支援を積極的活用し、知事が重視する「防災・減災」対象を軸に分配したと報道されている。令和元年台風19号による河川氾濫等大規模な浸水被害が相次ぐ中、被災後の復旧費用を考慮しても、維持管理のための河川等の浚渫(堆積土砂の撤去等)が重要である。

また、土砂等の除去・処分、樹木伐採等を含む河川、ダム、砂防、治山に係る浚渫について、

各地方団体において各分野の個別計画に緊急的に実施する箇所を位置付けすると聞いている。阿賀野市の緊急を必要とする河川や浚渫予定計画を伺う。

答弁 令和2年度から令和6年度までの5年間の事業とする。河川の土砂の堆積状況や人家への危険度を踏まえ、緊急を要する河川は、県管理河川では、安野川・駒林川・都田田川など、市管理の河川では、今板川・小松大沢川などである。

森林環境譲与税について

質問 パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税及び森林環境譲与税が創設された。令和元

年台風15号においての倒木による停電被害や、近年、森林保水力が低下したことなどにより、洪水氾濫等の被害が発生している。森林整備の促進が喫緊の課題とされているが、阿賀野市の森林環境譲与税の活用と計画を伺う。

答弁 来年度は、森林経営管理法による整備箇所の選定に向け、市としての基本方針を定め、所有者の意向調査を行い、その結果に基づき、森林整備等の必要が生じた場合に活用する。



日本共産党
稲毛 明

水不足対策について

質問 地球温暖化に伴う異常気候により4、5年まったく通常の米の収穫が得られていない。今年は雪が少なく、国道290号沿いは早くも水不足を心配している農家の声が聞こえてくる。そこで、市長に早急な対策を求める。

○井戸、ため池など

答弁 3か月予報によれば、3月、4月の気温は平年並みか高く推移する見込みであり、高温により作物の軟弱徒長や病害虫の発生などのほか、小雪による農業用水の不足が懸念されると

ころである。ため池、井戸を整備との提案については、山水・天水に頼る地域にとつて、ため池や井戸の整備は有効なものと考えているが、高額な整備費を踏まえると早急な対応は難しいと考えている。今後、圃場整備が進められる勝屋地区では漏水対策として、ため池並びに補水用井戸、ポンプが整備される。今年のような小雪時においても水の心配はなくなるものと考えて



人事評価が人材育成に役立っているのか

質問 市では40歳代の中途退職者が増えている。退職者が2年間で2人から10人に、また、自死がここ数年で3件発生しているという。

これらは本当のことなのか伺う。また、市長はどのような対策をうってきているのか。

答弁 退職者数については、90日間の療養休暇を取得した後も引き続き療養が必要な場合であり、現在は2名である。その理由は抑うつ状態にあるなどである。

職員が、心身とも健康で意欲をもって職務にあたることは、市民サービスを提供していくうえで重要。引き続き職員の健康増進に努めていきたい。

農業関係者との懇談会が開催されました

1月28日、笹神支所において阿賀野市農業関係者懇談会が開催され、市議会からは浅間信一委員長をはじめ、産業建設常任委員会の委員が出席しました。

この懇談会は、昨年度から始まり、今回が2回目となるもので、「阿賀野市の農業を考える」をテーマに、阿賀野川土地改良区、JA北蒲みなみ、JAささかみ、市農業委員会、市産業建設部長、政策監、農林課、建設課とともに、阿賀野市の農業が抱える課題について、意見交換と情報共有を図りました。

阿賀野市では、担い手の高齢化や後継者不足などにより離農が増加する傾向にあり、また、国、県の予算がつかなければ圃場整備もなかなか進まないという厳しい現状もあります。一方、今後、担い手不足の問題を解決し、地域で農業を営むための話し合いの場となる「人・農地プラン」(県農林公社が中に入る)の実質化に向けての広報活動、意向調査をスタートさせているとの報告もありました。



それぞれの分野での現状を説明し情報共有

出席者からは、市内の農業関係者が同じ方向をむいて、情報共有や現状把握に努め、問題・課題を提起して解決する会、また、阿賀野市農業の現実と未来を考え、夢をかなえるための会として、今後もこの懇談会を継続して開催したいとの声がありました。



座長として懇談会を進行する浅間産業建設常任委員長と委員

議会を傍聴しませんか

予約は必要ありませんので、直接おいでください。傍聴席入場時、受付簿に住所・氏名の記入をお願いします。

市政を知る良い機会です
議会傍聴にぜひおいでください



市ホームページで 議会の情報を発信しています ぜひご覧ください

<http://www.city.agano.niigata.jp/site/gikai/>



スマートフォン・タブレットは、こちらのQRコードを読みとってください。



こちらのボタンから本会議の映像を生中継と録画映像で見ることができます。

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせはこちら →



阿賀野市役所
ホームページ



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

1月28日に京ヶ瀬子育て支援センター、
2月7日に市PTA連絡協議会の皆さんと意見交換をしました。

質疑、意見の一部を紹介します。なお、
掲載内容は要約してありますのでご了承
ください。詳しい内容は、市ホームページ
「市議会のページ」に掲載しています。

観 保育園に入れるのが大きな問題。市内各
園での受入れをしているが、兄弟が別々といっ
た状況がある。市は多子世帯、遠方勤務地の方
を優先するため希望通りとはならない。両親が
フルタイム、身内は県外居住という状況でも入
園が認められないケースがある。

答 保育園等の入園希望については、保護者の
皆様から事情をお聞きし、「阿賀野市認可保育
施設入園選考基準」により審査して、公平性を
図っている。

緑岡周辺において住宅の建築が増え、平成30
年度は未満児保育の希望者が急増したことから
市立京ヶ瀬幼稚園を「認定こ
ども園」に変更
して新たに未
満児保育を開
始し、私立京ヶ
瀬こども園に
は、入園希望
者を利用定員
の最大限まで
受け入れてい
ただき、対応
した。



京ヶ瀬子育て支援センター（京ヶ瀬こども園内）

聖 介助員を配置している子どもたちの学校
生活面での相談及び多様化する問題等で気持ち
の余裕がないと思われる。増員を希望したい。
答 毎年度、特別支援学級に在籍する児童生徒
の状況を把握し、状況に応じた介助員数を各学
校に配置している。介助員1人が担当する児童
生徒数は県内20市中で中位。
令和2年度においても、学校現場での支援が
円滑に進められるよう、一定の基準により配置
することとしているので、ご理解いただきたい。

聖 （神山小学校）体育館ステージの道路側の天
井の雨漏りや体育館玄関の天井からの雨漏りが
心配。改修の目途を確認してもらいたい。児童
トイレ・職員トイレが古く匂いの苦情が出ている。

答 ご指摘の雨漏りは、外壁の目地部分のシー
リングの劣化が主な要因と考えられる。神山小
学校の体育館は、大規模改修の実施から18年が
経過することから雨漏りの対策はもとより、施
設の全体的な調査を行う時期に来ており、学校
教育課が所管する施設全体の改修計画の中で位
置付けていかなければならないと考えている。
なお、トイレについては、令和2年度に1階
トイレの洋式化と床改修を計画している。

聖 （神山小学校・笹神中学校）特に笹神中学校
グラウンドの水はけが悪く体育の授業に支障が
出ている。グラウンドはそれぞれ市民の避難場
所に指定されているが水はけが悪く、災害時に
テントが設置できない状況は問題がある。

答 両校のグラウンドの改修については、以前
より要望をいただいているが、排水側溝や暗渠
排水など、大きな事業費を伴う。
校舎などの施設改修を含め、学校教育課が所
管する施設全体の改修計画の中で位置付けてい
かなければならないと考えている。

聖 （笹神小学校）グラウンド脇の岩瀬の清水ト
イレが使用できない状況で、グラウンドを使用
している。子どもたちのためにも早めに改修し
てもらいたい。清掃は利用している団体で管理
が可能である。

答 岩瀬の清水ト
イレは、利用者が
少ないと思われる
ことから現在、閉
鎖しているが、笹
神小学校の運動会
などの行事がある
ときは、一時的に
開放している。
詳細な状況把握
をしたいので、後
日、ご意見等をう
かがいたく、貴協
議会のご協力をお
願いしたい。



市PTA連絡協議会の皆さん15名が参加

いただいたご意見を参考に、政策立案等
に役立てていきたいと考えています。
これからも多くの市民の皆さまからご参
加いただきますようお願いいたします。

議員としやべりまじよでは！



皆さんのもとへうかがい、意見交換・議会報告を
します。
自治会・団体・グループ等でお気軽に申し込みく
ださい。



まちづくり
ポイント
対象事業です

- 【会 場】 原則、市内の公共施設・地区公会堂等
※使用料が必要な場合は、団体で負担してください。
- 【申込方法】 申込書を議会事務局へ提出してください。
申込書は議会事務局に用意してあるほか、ホー
ムページからもダウンロードできます。

※お問い合わせはお近くの議員または議会事務局へ

次回 6月定例会の予定

月 日	会議名
5月25日(月)	議会運営委員会 (定例会の運営 方針決定)
6月5日(金)	本会議 (議案上程、 一般質問)
6月8日(月)	本会議(一般質問)
6月9日(火)	本会議(一般質問)
6月11日(木)	総務文教常任委員会
6月12日(金)	社会厚生常任委員会
6月15日(月)	産業建設常任委員会
6月17日(水)	本会議 (委員長報告、採決)

5月25日開催の議会運営委員会が正式に
決定します。
その後、市ホームページでお知らせしま
す。

おめでとうございます

第22回諸羅山杯出場



昨年12月に台湾で開催された少年軟式野球の国際
大会に、県選抜メンバーとして吉村彰太くん、佐藤
豪くん、細山善志くんの3人が出場し、結果報告の
ため議長室を訪れました。

この大会には、日本、台湾、香港の強豪チームが
出場し、高学年の部では吉村くんと佐藤くんのチ
ームが決勝トーナメント2回戦進出、低学年の部では
細山くんのチームが優勝。細山くんは大会ベストナ
インに輝きました。

左から、中山崇監督、吉村くんの母・友美さん、吉村くん、
細山くん、風間輝議長、佐藤くん、佐藤くんの父・大介さん

東京オリンピック聖火ランナー



2020年東京オリンピック聖火ラン
ナーに阿賀野市から土岐一希さんが内定
しました。

土岐さんは、NPO法人阿賀野市総合
型クラブスポアのクラブマネージャーと
して、子どもたちを中心に幅広い年齢層
の市民にスポーツ指導をしています。

新潟県での聖火リレーは6月5日から
6日です。

スポアのミニ運動会で子どもたちを応援・指導
する土岐さん

広報あがのや
県民だよりも読めます

スマートフォン・タブレット用アプリ



マチイロであがの市議会だよりが読める！

利用の手順

1. 検索サイトで「マチイロ」と検索し、アプリをインストールする。
2. アプリを起動し、「お住まいの地域」を「新潟県阿賀野市」に設定する。
3. アプリ画面から「あがの市議会だより」の画面をタップし、ダウンロードする。

注意事項

- ・「マチイロ」は株式会社ホープが運営するアプリです。
- ・アプリは無料でダウンロードできますが、通信料がかかります。
- ・アプリ画面には広告が表示されますが、市がその内容に責任を負うものではありません。

発行：阿賀野市議会
編集：議会改革推進特別委員会 広報部会
〒959-2092 阿賀野市岡山町10番15号
TEL：61-2489 FAX：61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

次号は令和2年7月15日発行の予定です。

議会改革推進特別委員会 広報部会

部会長 山賀 清一
副部会長 倉島 良司

高橋 幸信
遠藤 智子

広報部会員 高橋 幸信

皆様いかがお過ごしでしょうか。
新年度予算も決定されました。我々
広報部会はより一層充実した議会だよ
りを皆様にお届けできるよう、日々努
力しているところでございます。今後
も皆様からのご意見等、ご一報いただ
ければと思っております。

記録的な暖冬。いつ終息するのか新
型コロナウイルス。驚くばかりの令和
2年。
皆様いかがお過ごしでしょうか。

編集後記

